

⑦ 続・中締め です

- ・ ⑥の末尾で『・・・本能と知能との兼合い・・・』という表現での締め括りとしておりますので もう少し丁寧な内容表示を加えます。
- ・ 具体的な記述として 清水幾太郎著『社会的人間論』からの引用と致します。
- ・ 引用箇所は 別掲リンク先 から [p.47(後段)~p.48] をご覧ください。
〔文体に隔世の感があります。 当方が学生時代に教材として接した著書と同一のものである背景をご了承ください。〕

【注】

- (1) 著述の『人間の生きる道』とは 人間が成長する過程で順次遭遇する環境や境遇 が意味されているもので また『社会の生きる道』とは 《「一個の平凡な人間」が「社会によって作られる事情と 逆にまた彼が社会を作って行く働き」》が意味されているものです。
- (2) 当方の使用した語句『知能』とは 氏の著述されている『習慣』と『知性』とを統合したものであることをご理解ください。